

# 議会通信 しんしのつ

Shinshinotsu Village Assembly Information

第135号

2024年(令和6年)

5月1日発行



持続的な保育所の運営とさらなる保育サービスの充実を目指し、今年度から学校法人小寺学園が村の指定管理を受けて保育所運営を行っている。

これからも保育士たちがやりがいをもって、新篠津村の子どもたちや保護者が不安を抱くことなく、楽しくすこやかな保育所生活が送れるような取り組みを進めてもらいたいと思っている。

第1回定例会

令和6年度予算を可決  
予算審査特別委員会で審査  
4人の議員から一般質問

令和6年

# 第1回 定例会

令和6年第1回村議会定例会が、3月6日から15日までの10日間の会期をもって招集されました。

初日は、村政及び教育行政執行方針のあと、補正予算や条例の改正など19件を審議した結果、全て原案のとおり可決しました。

令和6年村政執行方針の中では、「新篠津村ゼロカーボンシティ宣言」を宣言しました。

最終日には、予算審査特別委員会で審議した新年度予算5会計を原案のとおり可決し、4人の議員から一般質問を行いました。

## 定例会の主な内容

### 補正予算

#### ◎一般会計(第8号)

歳出補正の主な内容

・公共施設営繕基金積立金 5200万円

・教育文化振興基金積立金 500万円

・低所得世帯支援及び定額減税補足給付費(目新設) 1364万円

・地方創生拠点施設整備事業補助金(ホクレンショップ改修) 2億3954万円

・物価高騰対策生活支援商品券発行事業補助金 1854万円

・村道・公共施設除排雪業務委託料 1937万円

〈今回の補正額〉

2億4975万円

〈補正後の予算総額〉

42億2595万円

#### ◎国民健康保険特別会計(第2号)

歳出補正の主な内容

・北海道クラウド運用負担金 △78万円

・総合行政システム機器使用料負担金 15万円

〈今回の補正額〉

△181万円

〈補正後の予算総額〉

7億532万円

#### ◎介護保険特別会計(第3号)

歳出補正の主な内容

・介護給付準備基金積立金 82万円

・居宅介護サービス給付費負担金 △900万円

・地域密着型介護サービス給付費負担金

△420万円

・施設介護サービス給付費負担金 △2700万円

・居宅介護サービス計画給付費負担金△170万円

・介護予防サービス給付費負担金 250万円

・特定入所者介護サービス負担金 △150万円

・第1号通所事業負担金 130万円

〈今回の補正額〉

3817万円

〈補正後の予算総額〉

4億338万円

#### ◎後期高齢者医療特別会計(第2号)

歳出補正の主な内容

・後期高齢者医療広域連合納付金 △91万円

〈今回の補正額〉

△169万円

〈補正後の予算総額〉

6841万円

## 条例改正

#### ◎新篠津村課設置条例及び新篠津村まちづくり総合計画策定審議会条例の一部を

改正する条例について  
令和6年4月1日付けで行政組織機構の一部を改正するため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村個人番号の利用及び特定個人情報の提供等に関する条例の一部を改正する条例について  
マイナンバーの利用及び情報連携に係る規定について所要の改正等を行うため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村会計年度任用職員等の給与等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について  
人事院の令和5年度の給与と改定に関する勧告に鑑み、会計年度任用職員の勤勉手当を新設するため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村立へき地保育所条例の一部を改正する条例について  
新篠津村立へき地保育所の運営管理について、指定

の運営管理について、指定



今秋に改修整備されるホクレンショップ

管理者制度を導入するため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村小規模保育所条例の一部を改正する条例について

新篠津村小規模保育所の運営管理について、指定管理者制度を導入するため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について

各条例における国基準の一部が改正されたことに伴い、本条例を改正するものです。

◎新篠津村介護保険条例の一部を改正する条例について

て

新篠津村第9期介護保険事業計画の策定及び介護保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことにより、介護保険料を改定することとなったため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村公営住宅条例の一部を改正する条例について

より多くの子育て世帯及び若者夫婦世帯を裁量階層に位置づけ、その入居収入基準を引き上げるため、本条例を改正するものです。

◎しんしのつ天文台設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

利用料金等の設定に係る区分表記の見直しにより改定を行うため、本条例を改正するものです。

◎新篠津村普通河川管理条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村準用河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例について

正する条例について

消費税法の一部改正に伴い、本条例を改正するものです。

◎新篠津村営バス運行条例の一部を改正する条例について

バス停留所名の由来となつていている小学校の統廃合及び施設の建替等に伴い、バス停留所名を現在の停留所近隣の建物名称及び地区名等へ変更するため、本条例を改正するものです。

### 一般議案

◎指定管理者の指定について

【施設の名称】

新篠津村立へき地保育所

新篠津村すすく保育所

新篠津村たかくら保育所

新篠津村小規模保育所

新篠津村ひまわり保育所

【指定管理者】

厚岸郡厚岸町宮園3丁目115番

学校法人小寺学園

理事長 小寺 タカ

【期間】

令和6年4月1日から  
令和11年3月31日まで

### 第1回臨時会 (1月29日)

### 条例改正

◎新篠津村手数料徴収条例の一部を改正する条例について

本籍地以外での戸籍等に係る証明書の交付等及び戸籍電子証明書提供用識別符号の発行等に係る手数料について定めるとともに、一部改正政令による所要の規定の整備を行うため、本条例を改正するものです。

### 補正予算

◎一般会計(第7号)

歳出補正の主な内容

・ふるさと納税業務委託料

5800万円

・戸籍附票システム改修業務委託料

264万円

・たつぷの湯空調設備設置

工事

6607万円

・教育文化振興基金積立金

4000万円

・減債基金積立金

778万円

〈今回の補正額〉

1億7928万円

〈補正後の予算総額〉

39億7621万円

### 第2回臨時会 (2月14日)

### 一般議案

◎工事請負契約の締結について

【工事名】

たつぷの湯空調設備設置

工事

【工事概要】

客室(24室)、レストラン、温泉休憩室、事務室への空調設備設置

【契約金額】

5830万円

【契約相手方】

恵庭市相生町

株式会社玉川組

【工期】

令和6年9月30日まで

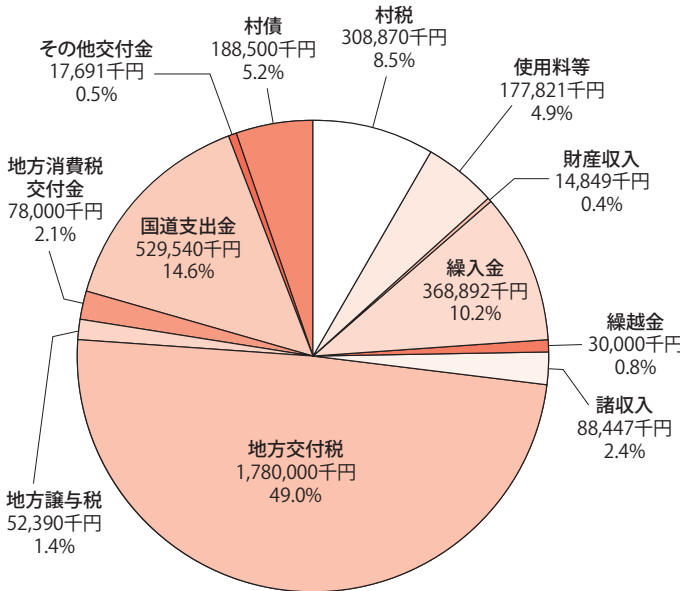
# 令和6年度 予算 健康で思いやりのあるまちづくりへ

診療所建て替え、保育所運営の指定管理者導入など  
医療体制・子育て環境の充実に向けて

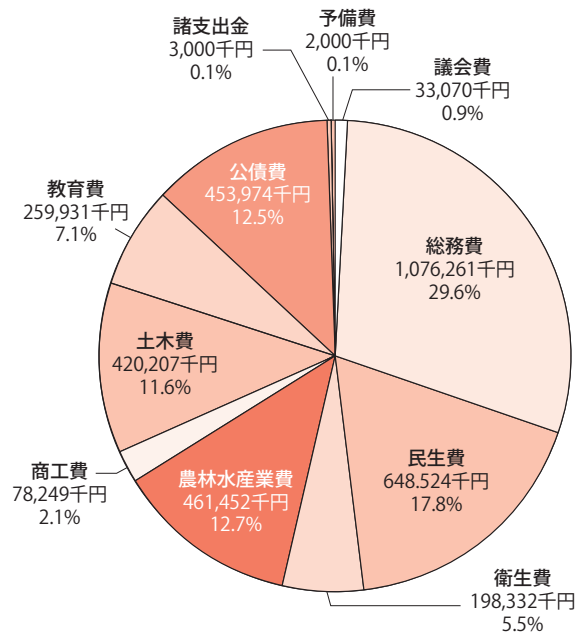
## 一般会計予算の内容

歳入歳出総額 36億3,500万円

【歳入予算構成比】



【歳出予算構成比】



### 令和6年度 各会計当初予算

会計名		予算額(万円)	前年度比(%)
一般会計		36億3500	0.5
特別会計	国民健康保険特別会計	6億7900	△3.8
	農業集落排水事業特別会計	—	—
	介護保険特別会計	4億1900	△2.6
	後期高齢者医療特別会計	7500	11.9
特別会計合計		11億7300	△7.6
企業会計	農業集落排水事業	1億1156	—
	収益的収入	9765	—
	収益的支出	1億157	—
	資本的支出	999	—

※農業集落排水事業会計は令和6年度より公営企業会計へ移行



大塚 裕樹 委員長

令和6年第1回村議会定例会初日（6日）に付託された令和6年度新篠津村各会計歳入歳出予算案は、予算審査特別委員会（委員長 大塚裕樹、副委員長 高橋隆光）を設置し、3月8日に審査を行いました。15日に再開された本議会において審査報告を行った結果、同委員会の決定のとおり各会計予算は原案どおり可決されました。主な質疑の内容は次のとおりです。

## ■ 予算審査特別委員会

### 令和6年度予算

# 一般会計ほか3特別会計などの予算を審議

## 総務費

### 山元委員

免許証返納サポート事業の今後についてどのように考えているか。

### □ 鈴木住民課長

免許証返納時に6万円分のチケットを交付しているが、事業が始まり年数を経過していることから、すでに全部使用している方もいると思う。

チケットを使ってしまったから動けないということも出てくるので、今後何らかのサポートをしていかなければならないと思っている。

### 山元委員

冬期間の吹雪時には防犯灯は大変効果があり、自治会所有としては増やさないのか。

また、個人が防犯灯を設置する場合には、どういう条件があるのか。

### □ 鈴木住民課長

防犯灯の設置に関しては防犯協会に相談をしていたきたい。

また、個人で設置する場合については、道路沿いで皆さんが必要だというものであれば防犯灯助成の対象になると考えている。

### 高橋委員

しのつ湖未来会助成金が新年度予算に計上されている。

ないが、小学4年生が行ってきた植樹で生まれる「心のリレー」をどのように継承していくのか。

### □ 中井総務課参事

団体側から村からの補助は求めないという申し出があり、予算計上をしていない。

団体側からは補助を受けての植樹活動は行わないが、引き続き、小学4年生の総合学習の支援をしていきたいという意向があると聞いているので、今後も、しのつ湖未来会として教育支援活動は継続されていくものと考えている。

### 竹村委員

乗り合いタクシー運行事業として委託している金額は実績等から見合ったものなのか。

また、運行に対する指導体制はどのようになっていくのか。

### □ 鈴木住民課長

昨年実施したアンケート結果では「時間どおりに来ない」、「電話が繋がらない」などの回答があり、これらの苦情に関しては、見積り合わせの段階で運行業者に伝えていく。

事業費に関しては、人件費・燃料費等を考慮し決めているが、今後も事業内容などについての相談や協議をしていきたい。

## 民生費

## 衛生費

### 山元委員

建て替えとなる診療所施設に、非常用電源は完備されるのか。

また完成後の引き渡しの時期はいつ頃か。

### 鈴木住民課長

非常用電源の備え付けはない。引き渡し時期は、令和6年12月から令和7年1月を予定している。

## 農林水産業費

### 林委員

農業振興センター加工実習施設「ここなら」の利用状況と、今後に向けて商品開発を考えている人がいるのか。

### 金兵産業建設課長

3月末までの利用予約を含めて379名の利用が見込ま

れている。利用日数は146日。

1回の利用で3名から4名というような状況になっている。農閑期になり従前からの味噌づくりのほか、お菓子作りなどに利用されている。

商品開発としては利用者の中に自分で作った野菜を村の特産品にして売っていきたいという方、また、令和6年度には保健所の許可を取ってチャレンジしたいという方もいるという状況である。

## 商工費

### 北川委員

村民も大変喜び、商工業者の経済効果もたいへん大きい事業であった共通商品券発行事業が予算計上されていないが。

### 中井総務課参事

平成22年からプレミアムといった商品券を発行し、コロナ禍には交付金を活用

して村独自で商品券の発行もしてきたが、令和5年度

繰越事業として村民一人当たり6千円の商品券を発行することもあり、令和6年度はプレミアム商品券の発行はしないこととなる。

### 南部委員

天文台敷地張芝工事の概要と駐車場の整備についてどのように考えているか。

### 中井総務課参事

天文台敷地まわりの芝張りの施工を予定している。また、星座観測場との一体感を持たせるため土盛りを行い、緑地と芝生の整備を行う。

農園の借りられていない区画を利用して駐車場拡充の検討を進めていきたい。

### 高橋委員

パークゴルフ協会から整備要望が出されていると思うが、令和6年度で予算化され実施するものはあるか。今後、要望をどのように反映する考えか。

### 中井総務課参事

施設の環境整備や備品の購入など10件程度の要望をいただき、コース内危険防止ネットへの対応という事では、融雪後に現場での対応を実施したいと考えている。

パークゴルフ場東側の道路排水の停滞水から臭いを発している状況だが現状即効性のある対応は難しい。今後、排水の床さらいや草刈りなど改善策となるようであれば対応していきたい。

## 土木費

### 林委員

備品購入費の公用車についての内容は。

### 東産業建設課参事

平成14年購入の車両が22万キロを超え、昨年7月に廃車としたことから、ハイブリット乗用車を購入す

る予定である。

また、鳥獣対策として軽トラックが必要であることから1台増強ということで購入を考えている。

### 林委員

備品購入費のロータリー除雪車と車載式映像鮮明化装置についての内容は。

### 東産業建設課参事

平成9年購入の除雪車の更新となっており、毎分2・3トンの除雪ができるものとなっている。

映像化鮮明装置は除雪専用車に取り付け、ホワイトアウト時や吹雪時の立ち往生など生命に関わる事態の処動に活用する。

## 教育費

### 山元委員

はばたけ高校生応援支援金について、当初は交通費を補助していくというような考えもあったかと思う。

従来は高校の進学先として岩見沢が多かったが、昨年は札幌への進学先が多くなっている状況であり、支援金の制度設計に多少検討を加える時期ではないか。

□窪田教育次長

現状、交通費の助成とは考えておらず、高校生がいる家計への負担を広く助成するという考えでいる。

今後、制度設計の変更に ついては村長部局と協議しながら検討していきたい。

■高橋委員

尾形香三天追悼展会場設 営等業務委託として計上されているが、追悼展に至った経緯と内容は。

□窪田教育次長

昨年の生涯学習委員会のなかで、岩見沢市で追悼展が開催されているので村でも開催できないかとの意見もあり、尾形氏の奥様に相談したところ快諾いただいた。

実施時期は9月から10月

中に自治センターで1週間程度を予定しており、参集範囲は村内外問わず尾形さんの素晴らしい作品をたくさんの方々に観ていただきたいと考えている。



平成27年8月に開催された尾形香三夫・蒼野甘夏氏による開村120年記念合同展

■北川委員

昨年完成した運動公園大型遊具のオープンニングイベントの内容と予算規模は。

また、安全対策の徹底を

図ると言っている内容はどのようなものか。

□窪田教育次長

昨年完成してお披露目をしていないことから、5月になると思うが運動公園のオープンに併せて行いたい。内容は保育所の子どもたちによるセレモニーを考えている。

また、昨年講じた対策のほかにサッカー場から飛来するボールに対して1・5m程度の防球ネットを施すこととしている。

■南部委員

小中学校へ導入しているタブレット端末のトラブルが増加しているようだが、どのように対応しているか。また、今後の更新に向けてどのように考えているか。

□窪田教育次長

トラブルの中でも画面の破損に関して小学校では、机から落としてしまうということがあるので、担任を通じて指導をお願いしている。

る。年々件数が増えている。修理費は保険で対応している。

現在のものは令和2年度に国費で導入しており、更新時も国からの補助でできないものかと考えており今後の更新に向けて検討していく。

一般会計  
歳入全般

■高橋委員

昨年度同様、ゴルフ場利用税交付金を減額する見込だが、これは毎年、値上げされるプレー料金が減額の要因ではないのか。

道内ゴルフ業界の発展の一翼を担うようなことも考えていただき、最初のコンセプトのとおり低料金で多くの幅広いゴルファーにプレーさせるべきではないか。

□中井総務課参事

指定管理者から令和6年

度のプレー料金の値上げについて協議があった。

理由としては、ゴルフ場維持の人員確保、資材の高騰もあり経費が膨らんでいるためということである。条例で定めている料金の上限の範囲内ということもあり承認した。

関係人口を増やすという事からも指定管理者へ目標設定を示し、プレイヤーを増やすよう頑張っていたらどうかようお願いしていきたい。

■山元委員

村ではマイナンバーカード取得に向けての啓発活動などにより80%弱の取得率となっているが、今後、取得率100%に向けてどのように対応していくか。

□鈴木住民課長

なかなか取得申請に役場に来ることが難しいという方は、戸籍年金係に問い合わせをいただければ出向いて申請いただくといいと思います。

## 国民健康保険 特別会計

### 高橋委員

ここ数年で被保険者数と世帯数に大きな変化はあるか。また、保険税が減額になっているが、被保険者にどのような影響があるか。

### 鈴木住民課長

被保険者数については令和5年3月末から令和6年2月末で比較すると49人の減マイナス4.5%となっている。

一般的に保険税が下がれば保険税率も下がるのではないかと考えるが、実際は保険税で賄わなければならないとされるものになっておらず、一般会計の財政支援繰入金をもって会計運営をする状況となっている。

令和6年の国保税率については令和5年の収入を見ないと判断できないことから、税率改正する場合は、国保運営協議会に諮問をして決定する。

## 議会に関するアンケートを実施しています 回答にご協力をお願いします

新篠津村では議会活動の活性化として、議員へ配布する資料のペーパーレス化や、議会本会議の録画中継設備整備に取り組んでいます。

村民が議会や議会制度をどのように捉えているのか、また、これまでの議会の活性化や今後の議会のあるべき姿について分析するため「議会に関する村民アンケート調査」を実施します。

- ・実施期間：令和6年4月15日(月)から5月31日(金)
- ・アンケートに関する封書を世帯主様宛に4月15日に発送しております。
- ・回収方法

次のいずれかの方法による

- (1) 持参：新篠津村議会事務局(役場2階)受付時間：8時45分～17時15分(土・日・祝日除く)
- (2) 郵送：〒068-1192 新篠津村第47線北13番地 新篠津村議会事務局あて(郵送料は各自負担)
- (3) ファクス：0126-57-2226
- (4) 電子メール：gikai@vill.shinshinotsu.hokkaido.jp
- (5) QRコード：北海道電子自治体共同システムを活用したQRコード認証のアンケートフォームで回答いただけます。



※Word形式のアンケート回答用紙を村議会ホームページからダウンロードすることができます。  
新篠津村議会HP

<https://www.vill.shinshinotsu.hokkaido.jp/hotnews/category/40.html>

## 議会日誌

- |           |       |                  |                  |                  |                |                  |                                     |                        |               |           |
|-----------|-------|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|-------------------------------------|------------------------|---------------|-----------|
| 22日       | 8日    | 15日              | 8日               | 6日               | 4日             | 28日              | 22日                                 | 14日                    | 5日            | 29日       |
| 議会広報特別委員会 | 議員協議会 | 議会運営委員会<br>議員協議会 | 議会運営委員会<br>議員協議会 | 議会運営委員会<br>議員協議会 | 予算勉強会<br>議員研修会 | 議会運営委員会<br>議員協議会 | 村建設協会通常総会<br>新年度予算止副議長説明<br>議会運営委員会 | 第2回村議会臨時会<br>村建設協会通常総会 | 石狩町村議会議長会定例総会 | 第1回村議会臨時会 |
|           |       | (最終日)            |                  | (初日)             |                |                  |                                     |                        |               |           |

# 一般質問

# 村政のここが聞きたい

## ～4人の議員から8項目を問う～



### 1 北川 哲也 議員

① 役場庁舎内総合案内の設置について

### 2 南部 隆志 議員

① 福祉施設のエアコン状況と今後の対応について

② 農業後継者の未来に向けた花嫁対策について

③ すこやかクリニック解体工事後の跡地利用について

### 3 林 和彦 議員

① 地震などによる災害対策について

### 4 大塚 裕樹 議員

① ゼロカーボン宣言と村民への支援を同時に

② たつぷの湯の大規模改修に向けてビジョンが必要では

③ 小中学校の防災対策について

令和6年第1回村議会定例会が3月6日から15日の10日間の日程で開催され、議会最終日に4人の議員が一般質問し、石塚村長に答弁を求めました。

(紙面の都合上、要約し掲載しています。)



**Q.** 住民と行政の橋渡しに  
総合案内設置が必要では

**A.** 案内表示板を改善し  
挨拶を励行していく

# 一般質問

北川哲也 議員

○北川議員 質問

役場内には総合案内がなく、来庁された方がどこに行けば良いのか、誰に声を掛けて良いか解らないといった声が度々聞こえてくる。

総合案内を設置して来庁者の窓口となれば利便性の向上や、来庁者と行政のコミュニケーションの円滑化を図ることができるのではないかと。

入口正面に設置することで、玄関付近で迷う人がいなくなり、来庁者や住民と行政の橋渡しとして総合案内を設置する必要があるのではないかと。

○石塚村長 答弁

本村の人口規模において、恒常的な手続きで来庁される方はそれほど多くはなく、職員を配置して総合案内を設けるには、住民サービスの観点からは良いこととは思いますが、コスト面において現実的ではなく厳しい。

住民との懇談会などにおいて、役場への印象をお聞



改善が必要な役場正面玄関の案内表示板

きするなかでも、「雰囲気が悪い」、「挨拶をしない」などの批判があるのも承知しており、それらも含め、現在、役場内にBGMを流すなど改善の取り組みもしているところである。

今後は、当たり前のことではあるが、職員全員が顔見知りか否かを問わず、来庁者の皆さんに積極的に挨拶を励行し、「どちらにどうぞですか」などの、お声をかける取り組みを進めつつ、正面玄関に設置してある案内表示板の改善にも努めていく。



**Q.** 猛暑で福祉施設にエアコンが必要ではないか

**A.** 補助対象外となれば村としても検討していく

# 一般質問

南部隆志 議員

○南部議員 質問

昨年夏季の猛暑は村内で最高気温が観測史上初めて35℃を超える状況であった。

その中で村内の福祉施設「福祉園」「幸生園」「ふれあいの苑」でのエアコン設置状況について資料をいただき正直愕然とした。

これまで、施設利用者の生活環境は十分とまでは言わないまでも、ある程度は保たれていると思っていた。

施設ごとの設置図面から率直な感想として、日常生活を過ごす施設として改修工事などは行われてはいるものの、風通しは決して万全でなく、昨年の猛暑を考えると利用者の方々、それを支える職員の方々の苦勞は計り知れないものを感じた。

今後、急務な課題とする案件ではないか。

○石塚村長 答弁

施設入所者や職員の職場環境について、十分に配慮していく必要があるものの、村内の他の事業所等を鑑み

**Q.** 未来に繋ぐ農業後継者の花嫁対策が重要では

**A.** 重要な課題ととらえ引き続き事業を継続する

でも基本はそれぞれの職場・施設において、対応していただくものであると考えており、エアコン設置の助成については、今のところ検討していない。

ただし、猛暑ではなく酷暑といったところまで来ても、自然災害のような感でもあると考えており、まずは、補助事業対象になるかどうかを石狩振興局に協議していただいて、事業対象外であれば、村としても検討していきたいと考えている。

○南部議員 質問

新篠津村は新規農業従事者の数が全道でもトップクラスで、新卒者やUターンなどで就農した若者たちの活気を感じるところだが、彼らの花嫁対策に関しては中々難しいと思う。

そこで、この数年での婚活等を応援した活動と実績、今後の状況をどのように考えているのか。

○石塚村長 答弁

活動内容としては、コロナ禍で対面での交流会が開催できず、オンライン交流会を開催してきた。

オンライン交流会については、「気軽にリラックスして参加できる」などのメリットはあるが、「距離感がかめめない」、「気持ちや感情が伝わりにくい」など、デメリットの方が大きいと感じている。昨年度は、お見合いと交流会に、それぞれ1名が参加しているが、どの取り組みにおいても、実際、結婚に至ったとの報告は受けていない。

**Q.** すこやかクリニックの跡地をどう考えているか

**A.** 新たなイベント会場などの活用が考えられる

今後の状況になるが、マッチングアプリは、今の時代において女性と出会う有効な手段の一つであり、新年度も継続したいと考えており、新篠津を知ってもらい、農業を理解してもらうためにも、村内の資源を活用し、夏に開催するのが有効であると考えている。パートナー対策は、成果が表れにくい事業だが、この取り組みは、個人の人生だけでなく、村の振興と発展にも大切な役割を果たすものであるため、引き続き、農業振興センター事業として取り組んでいく。

○南部議員 質問

新病院は現在の建物の南側に薬局と共に移転することが決定しており、病院の建物が完成し業務が始まると現在使用している建物の解体工事が予定されている。村内でも中心の位置に面しており病院駐車場だけではその跡地は広いと思うが、今後の整備活用に関し、どのように考えているのか。

○石塚村長 答弁

解体した跡地には、新しい駐車場と新しい車庫を配置し、その駐車場の面積を除くと、土地の大きさは約50m×60mぐらいであり、実際にその大きさを目の当たりにしてからでないかと、わからないところもあるが、様々な活用方法があると思われる。

さわやかステーションが隣接していることで、トイレ問題も解消され、活用していくひとつとしては、まずは「青空まつり」での更なる拡大に利用したり、新たなイベント会場としての



国保診療所として昭和47年に建築され52年が経過する「すこやかクリニック新篠津」

活用が考えられるが、安全面に配慮することが第一であると考えており、イベントを行う際には、バス停留所を考慮し、交通事故には十分注意して活用する必要があると考えている。



**Q.** 今後の防災に向けた対策をどう考えているか

**A.** 防災への備えを促して防災への周知に努める

**一般質問**

林 和彦 議員

○林議員 質問

1月に発生した石川県能登半島での地震は、改めて地震の恐ろしさを痛感される出来事であった。

災害はいつ起きるかわからないので日頃から防災対策の意識の向上を図ることが、住民の生命・財産を守ることに繋がると思っている。

村でも令和4年に地域防災計画が修正されており、災害時の対応策が文章化されているが、村民の認知度はそれほど高いとは思えない。この計画を多くの村民に理解してもらおうことが、災害に強いまちづくりにつながるのではないかと思う。

また、災害時の基本となる考えは「自助」・「共助」・「公助」だと言われている。個人の非常食備蓄の必要性や、各自治区の避難所での防災用品の確保など、村が積極的に防災計画をアピールすることが、もしもの時に役立つのではないかと。今後の防災に向けた対策をどのように進めていくのか。

○石塚村長 答弁

防災計画はその状況に応じて修正をかけ、整備はしており、備蓄品についても防災備蓄整備計画に基づき、もしもの時に備えた必要な備蓄品を確保しているが、災害の規模や避難所生活の日数等で必要数は変わり、現在の確保数が必ずしも十分とは言えないかもしれないが、いろいろな団体・企業などと災害協定を結んでおり、災害時には物資や燃料等、様々な必要な支援をしていただけることとなっている。

しかし、災害時においては「自助」がかなり重要であり、必要最低限の非常用持ち出しの準備をしていただきたいと思っている。

最近の大型地震等で、災害に対する意識は高いと思うが、防災に対する備え等を村民に十分理解してもらうために、村自主防災組織連絡会にも協力してもらい、あらゆる方法で村民に対し、防災に向けた周知等を行っていききたい。



**Q.** 国や道と協調して  
村民への支援加速を

**A.** 計画策定のなかで  
施策を検討していく

# 一般質問

大塚裕樹 議員

○大塚議員 質問

経済産業省では、エコキユートの導入や交換（買い替え）を行うと、1台あたり8万円〜13万円の補助金を交付している。

これは「給湯省エネ2024事業」による一般家庭への「高効率給湯器」の導入支援事業の一環で、電気温水器の撤去費用も対象となる。この事業に村もプラスすれば、多くの村民が効率のよい給湯器を導入できることになる。

ゼロカーボンに向けて村単独ではなく、国や道と協調しながら燃油高騰で苦しんでいる村民にメリットの政策を加速すべきではないか。

○石塚村長 答弁

令和6年度当初予算で、「地球温暖化対策実行計画策定支援業務」を計上させていただきます。この計画策定の中で、アンケート結果を踏まえた方策や具体的な施策について展開していくことになる。

計画を策定していく上では、住民や事業者の皆様、そして幅広い関係者との連携や協働が必要であり、そのことが一番重要であると考えている。

二酸化炭素の排出は、私たちの生活に密接に関係しており、一人ひとりに環境意識が定着するように、また、温暖化対策活動に積極的に関わることで、日常生活に起因して発生する二酸化炭素の排出を減少させていく。

事業者においては、経営方針や事業内容、規模に照らし合わせ、創意工夫と適切な取り組み、自主的な環境活動の実践、環境負荷の少ない製品やサービスを提供することにより、事業活動における二酸化炭素の排出を減らしていくことが出来るのではないかと考えている。

今後は、環境省やその他関係省庁とも連携を取りながら、次年度から始まる「地球温暖化対策実行計画策定委員会」のなかで検討していききたい。

**Q.** 基本的ビジョンを示し  
村民の理解を得ては

**A.** 村民から喜ばれる  
施設の改修を進めたい

○大塚議員 質問

たつぷの湯は、村の観光施設の要でもあり、令和8年に大規模改修すると聞いているが、専門家も入れてしっかりと議論をして、村民に今まで以上にメリットのある施設にすべきだと思う。

また、今後はゼロカーボンを意識した持続可能な観光施設として、農業と福祉と観光をマッチングした施設にするために基本的なビジョンを示して頂けないかと村民の納得は得られないのではないかと。

○石塚村長 答弁

老朽度調査の結果報告が3月下旬に委託業者から報告される予定となっており、今後、工事実施年までの間に改修計画を立てていく。

施設の老朽化に伴う単なる改修に留めず、特に温泉施設部分に手を加え、村外からの誘客もさることながら、村民から喜ばれ健康の維持・増進にも寄与する施設となるよう改修を進めていきたい。

少子高齢化が進む現代、本村においても大きな課題として人口減少対策の一助となるべく、関係人口や交流人口の増加につながる事業としても考えており、施設の改修計画にあたっては、たつぷの湯を含めた観光エリアとしてのあり方なども考えに加え、関係各所や専門家からの意見やアイデアなどを頂きながら計画を固め、改修内容の方向性が定まってくる時期には皆様方にもお示し、ご理解を得ていきたいと考えている。

また、施設改修に伴うゼロカーボンを意識した施設づくりについては、改修事業の実施に伴い、今後関わる設計業者や建築業者とも協議を重ね、どの様な取り組み方が可能か検討し、村の財政状況とのバランスも図りながら進めていきたいと考えている。

農業・福祉・観光がマッチングした施設改修をどの様に進めるかについても、村のまちづくり総合計画をベースとした考えを今後の改修計画の中にも反映するよう進めていきたい。

また、施設改修に伴うゼロカーボンを意識した施設づくりについては、改修事業の実施に伴い、今後関わる設計業者や建築業者とも協議を重ね、どの様な取り組み方が可能か検討し、村の財政状況とのバランスも図りながら進めていきたいと考えている。



大規模改修で交流人口増加が期待されるたつぷの湯(写真はレストラン)

**Q. 非常用発電機の設置  
小中学校が急務では**

**A. 避難所施設の発電機の  
有無も含め今後検討する**

○大塚議員 質問

昨年、JAが災害時ににおける地域住民の防災拠点として、クリーンなLPガス非常用発電機を完備した。

このことよって冬期間の停電対策として非常に有効であり、災害時のインフラ整備として一番効果がある取組だと思つう。

現状、役場と自治センター、JA新しのつには、非常用発電機が設置されているが、小中学校には設置されていない。

1月の能登半島でも災害の避難所として、小中学校が一番活用されている。

まず、特に冬期間の災害によつて停電のリスクにより暖房を確保するためにも、小中学校にも非常用発電機の設置が急務だと思つているが、ゼロカーボンも意識して整備すべきではないか。


○石塚村長 答弁

現在、避難所は小中学校と各地区の会館や福祉施設など予備も含め10カ所のほか、JA新しのつの2階の大会議室も新たに避難所として追加することとしている。

村民が避難する場所は、

防災計画に基づき、どこに避難すれば良いかを防災マップで示しているが、市街地区においては、小中学校も避難所となっております。体育館のみならず、教室等も避難所の部屋として活用できるため、かなり大きな避難所として利用できることから、重要な避難所のひとつと認識している。

また、本村は3月6日の議会定例会初日において、ゼロカーボン宣言をした。今後いつ起こるかもしれない大規模災害に備え、どのように整備していくのがよい方策か、施設の非常用自家発電機設置の有無も含め、今後検討していく。

  
**新篠津村ゼロカーボンシティ宣言書**

近年、地球規模で大きな課題となっている地球の温暖化は、平均気温の上昇のみならず、大雨や干ばつ等の深刻な自然災害をもたらしており、我が国においても大雨や台風による被害、農作物や生態系への影響等が懸念されています。

このような気候変動による深刻な事態を避けるため、「世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて、1.5℃までに抑えるように努力する」との目標が国際的に広く共有されており、我が国では、2020年10月26日に内閣総理大臣所信表明において「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。その後、2021年10月に国の「地球温暖化対策計画」が改定され、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて気候変動対策を着実に推進していくこと、中期目標として2030年度において、温室効果ガスの排出量を2013年度から46%削減することを目標とし、さらに50%の高みに向け、挑戦を続けていくという新たな削減目標が示されました。

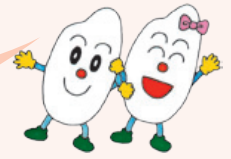
こうした状況を踏まえ、新篠津村においても、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出量を削減を推進し、本村の広大な田園や豊かな自然環境を守り、未来へ引き継いでいくために、村民・事業者・村が一体となり、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「新篠津村ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和6年3月6日  
新篠津村村長 石塚 隆

令和6年村政執行方針のなかで宣言した「新篠津村ゼロカーボンシティ宣言書」



# 議会の動き



議会通信しんしのつ

(令和6年5月1日発行)



## 議会議員研修会

令和5年度新篠津村議会議員研修会を3月4日に開催しました。

研修会では、「天体観測の基礎知識」をテーマに、たっぷ天文台長である村総務課商工観光係 地域おこし協力隊 山本修 氏に講演していただきました。



村役場2号会議室で開催した議員研修会

## 議会インターネット中継

本会議などの中継（録画）をインターネットで配信しています。

詳しくは新篠津村議会ホームページをご覧ください。



## 議会通信しんしのつ

議会通信しんしのつは、新篠津村議会ホームページからでもご覧いただけます。

過去の議会通信も配信しております。

ぜひ、ご覧ください。



## 令和6年 第2回定例会のお知らせ

### 6月13日(木)

### ～6月19日(水) 予定



どなたでも傍聴  
できます。  
皆様のご来庁  
をお待ちしてお  
ります。

### 編集後記

黄色い交通安全帽子の新年生と真新しいブレザー姿の中学生の君たちの笑顔が、村にも春を運んでくれました。

早いもので昨春の統一地方選挙から一年が経過し、新人議員だった私も様々な村の行事に参加しました。

なかでも、村最大イベントの青空まつりがコロナ禍を経て4年ぶりに開催され、村内外から多くの方が訪れ大盛況だったことが印象的でした。

また昨夏は、これまでエアコンとは無縁だった北の暮らしを一変させる過去最高となる36.3℃の猛暑日が札幌市で観測されるなど、農作物の生育にも多大な影響を及ぼした年でもあったので、今年の夏は、ほどほどの暑さで経過してほしいと願うばかりです。さて、これまで傍聴しなければ分からなかった議場の様子を今年の第1回議会定例会からインターネットで配信しています。

議会をいつでも視聴することができるようので、議場での議論されているのか、是非ご覧いただければと思います。(北川 記)

発行／新篠津村議会 編集／議会広報特別委員会  
住所／北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地

☎(0126) 57-2111